

## 用法・用量

1. 蚊、ブユ(ブヨ)、サシバエ、アブ、ナンキンムシ、ノミ、イエダニを忌避させる目的で使用する場合  
本剤の適量を用時、首筋、腕、足など皮ふの露出部分に噴霧してください。  
顔面などの場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布してください。
2. ツツガムシを忌避させる目的で使用する場合  
本剤の適量を4～6時間毎に、皮ふの露出部分及びはきものやズボンのすそなどにむらなく噴霧してください。顔面などの場合には適量を一度手のひらに噴霧してから塗布してください。

### <用法・用量に関連する注意>

- (1)本剤は吸血害虫に対する忌避剤であって、疾病の治療薬ではありません。
- (2)定められた用法・用量を守ってください。
- (3)漫然とした使用をさげ、蚊、ブユ(ブヨ)等が多い戸外での使用等、必要な場合にのみ使用してください。
- (4)小児(12才未満)に使用する場合には、保護者等の指導監督のもとで、以下の回数を目安に使用してください。なお、顔には使用しないでください。
  - ・6カ月未満の乳児には使用しないでください。
  - ・6カ月以上2才未満は、1日1回。
  - ・2才以上12才未満は、1日1～3回。
- (5)目に入った、飲んだり、なめたり、吸い込んだりすることがないようにし、塗布した手で目をこすらないでください。万一目に入った場合には、すぐに大量の水又はぬるま湯でよく洗い流してください。また、具合が悪くなる等の症状が現れた場合には、直ちに、本剤にエタノールとディートが含まれていることを医師に告げて診療を受けてください。
- (6)本剤は外用にのみ使用し、内服しないでください。
- (7)次の物には付着させないでください。(変質する場合があります)  
食物、食器、玩具、床や家具などの塗装面、メガネ、時計、アクセサリー類、プラスチック類、繊維製品、皮革製品、マニキュア等。
- (8)ストッキングなどの上に直接噴霧しないでください。(生地が傷む場合があります。)
- (9)特にツツガムシの忌避を目的とした場合には、さらに次のことに注意してください。
  - ①ツツガムシは見えにくいので、生息していそうな場所に立ち入る前に塗布してください。  
また、濡れたり、汗をかいたりした場合は早めに塗り直しをしてください。
  - ②シャツ、ズボン、ストッキングなどの衣類に噴霧する時  
・繊維の種類によっては本剤により変質する場合があります。ウール(毛)、コットン(綿)、ナイロンは変質しませんが、ポリエステル系やポリウレタン系の合成繊維は変質しやすいので注意してください。  
・ストッキングにはポリウレタン系が多いので噴霧しないでください。
  - ③外出するときは、薬剤だけに頼らずにシャツやズボン、長靴などを使用し、肌を露出しないようにしてください。
  - ④帰宅後は、着用した衣類や靴は石鹸水あるいは熱湯につけ、本人はお風呂に入るようにしてください。

## 使用方法

- ・初めに白いプッシュボタンを5～6回程度「から押し」してから使用してください。
- ・肌などから約10cm離し、塗り残のないようにむらなく噴霧してください。
- ・容器を逆さにしても噴霧できます。
- ・中身が少なくなった時は、容器を逆さにして使用すると液が出やすくなります。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (2)高温をさげ、直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)火気に近づけないでください。
- (5)使用期限(ケース底面及び容器に西暦年と月を記載)をすぎた製品は使用しないでください。  
使用期限内であっても、品質保持の点から開封後はなるべく早く使用してください。

### ツツガムシとつつが虫病

ツツガムシはダニの一種ですがイエダニとは異なり、主に地中で生活しています。体長は0.2～0.4mmで秋から冬と春から初夏にかけて活動します。病原リケッチアを有するツツガムシにさされて(ほとんど自覚なし)、10～14日後に体がだるく高い熱がでて、全身にかゆみのない赤いブツブツがでてきた場合は、つつが虫病のおそれがあるので医師に相談してください。なお、つつが虫病は4類感染症に指定されており、届出が義務づけられています。

お客様相談窓口：株式会社 池田模範堂 〒930-0394 富山県中新川郡上市町神田16番地  
☎ 076-472-0911 (電話受付時間：月～金(祝日を除く) 9:00～17:00)

製造販売元



株式会社 池田模範堂  
富山県中新川郡上市町神田16番地

®登録商標

SS07